

AIマスクはいかがですか？

人間×AIⅡさらなる幸せ

5年 R・Nさん

「感情がふくざつで、じつにおもしろい存在です。」

これは、AIマスクを売るピエロが、人間について表した言葉です。ピエロは、そんな人間をもっと知りたい、なやみから助けたい、と色々なマスクを作り出した。しかし、そのマスクが、人間らしさを失う原因にもなったのです。

私は怖くなりました。私の生活はAIであふれています。掃除ロボットやスマートスピーカー、配膳ロボット。そんな便利さの裏で失っている物があるとは、これまで考えもしなかったからです。

そこで、私の大切なものがAIになったことを想像してみました。例えば、私の愛犬がAIロボットになったらどうでしょうか。

愛犬は机の上の食べ物をこっそり食べたり、私のお気に入りのイスを占領したりします。AIロボットであれば、そんな悪さやじやまはしません。でも、愛犬のいいところは残るでしょうか。私が落ち込んでいる時に涙をなめてくれたり、私と弟が言い争いをしている時に二人の間に入ってしっぽを振ったり。愛犬がAIロボットに変わったら、そんな温かな愛に包まれる時間が、失われてしまう気がしました。

AIは日々進化し、今後ますます増えるでしょう。それは、失うものも増える可能性があるということです。しかし、本の中にはこんな言葉があります。「人間のいいところ、AIのいいところ、かけあわせればよりよくなる。」では、AIとうまく付き合うにはどうすればいいのでしょうか。

失いたくないものを常に意識する。私はこれを心がけることが大切だと思います。私は、愛犬がくれたような温かな愛に包まれる時間を失いたくありません。それを意識してAIを使えば、AIが生み出す時間の余裕を使い、大好きな人たちをもっと笑顔にできる気がします。

AIを使う時、私たちは便利さばかりに目が行きがちです。しかし、この本を読み、何のぎ問もなく使うのはさけるべきだと気付きました。ピエロが好きな「じつにおもしろい存在」であり続けるために。